



2020年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年4月14日

上場会社名 住江織物株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3501 URL https://suminoe.co.jp/
 代表者(役職名) 取締役会長兼社長 (氏名) 吉川 一三
 問合せ先責任者(役職名) 上席執行役員 経営企画室部長 (氏名) 薄木 宏明 (TEL) 06-6251-6803
 四半期報告書提出予定日 2020年4月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第3四半期の連結業績(2019年6月1日~2020年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第3四半期	70,889	△3.9	1,226	△38.7	1,222	△32.3	268	11.0
2019年5月期第3四半期	73,734	0.5	2,001	11.4	1,804	△8.2	241	△68.5

(注) 包括利益 2020年5月期第3四半期 396百万円(-%) 2019年5月期第3四半期 △11百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第3四半期	40.68	—
2019年5月期第3四半期	33.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年5月期第3四半期	90,312	33,409	31.6
2019年5月期	87,975	35,271	34.8

(参考) 自己資本 2020年5月期第3四半期 28,548百万円 2019年5月期 30,588百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2020年5月期	—	35.00	—		
2020年5月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年6月1日~2020年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	91,500	△7.2	1,500	△51.9	1,400	△52.6	100	△78.6
								15.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年5月期3Q	7,682,162株	2019年5月期	7,682,162株
2020年5月期3Q	1,373,268株	2019年5月期	837,557株
2020年5月期3Q	6,602,994株	2019年5月期3Q	7,233,206株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予測値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(会計方針の変更)	P. 10
(セグメント情報)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期におけるわが国経済は、雇用、所得環境は堅調となったものの、米中貿易摩擦の激化懸念や英国のEU離脱問題などから、経済の減速感が強まりました。そうしたなか、新型コロナウイルスの感染拡大により、中国を中心としたサプライチェーンの分断や、消費活動の減退、金融市場の混乱といった深刻な影響が出ており、終息がみえない状況となっております。

インテリア業界においては、新設住宅着工戸数は前年同期を下回ったものの、非住宅分野では都市部を中心として引き続き需要がありました。

自動車業界においては、国内市場の生産台数は前年同期に対し10月以降減少傾向となり、海外市場でも需要が大きく低迷しております。

当社グループは、第5次中期3ヵ年経営計画「2020」の最終年度を迎え、「企業ガバナンスの再構築」と「事業の成長」の2テーマのもと、目標達成に向け諸施策を展開しております。

企業ガバナンスの再構築	① 業績管理体制の見直し
	② 内部統制の再構築
事業の成長	① 取扱い商材の拡大
	② グローバル化の強化
	③ 高付加価値商材の開発・販売

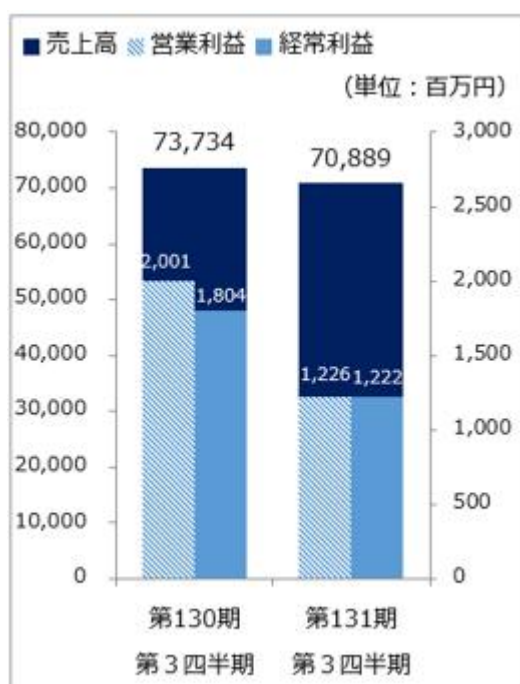
インテリア事業では、ホテル、商業施設案件や、オフィス需要を積極的に取り込むと同時に、利益率の高い商材への選択と集中を進め、利益確保に努めております。また、カーテンと壁装材の販売強化にも取り組んでおります。

自動車・車両内装事業では、自動車関連は、合成皮革などの非繊維商材の技術開発と受注拡大に取り組むとともに、原材料調達およびグローバル車種の生産地の最適化による原価低減を進めております。車両関連は、従来のファブリック素材のみならず、シートクッション材や安全対策商材の拡販に努めております。

機能資材事業では、これまで中国のみに電気暖房商材の製造拠点を有していましたが、サプライチェーン安定のため、新たにベトナムに子会社を設立し、工場稼働に向けて準備を進めております。

グループ全体では、経営管理体制の高度化を実現するべく、基幹システムの再構築や連結業績管理の精緻化に取り組んでおり、事業の成長に向けた土台づくりを今後も着実に進めてまいります。

このような状況のもと当第3四半期における連結業績は、以下のとおりとなりました。



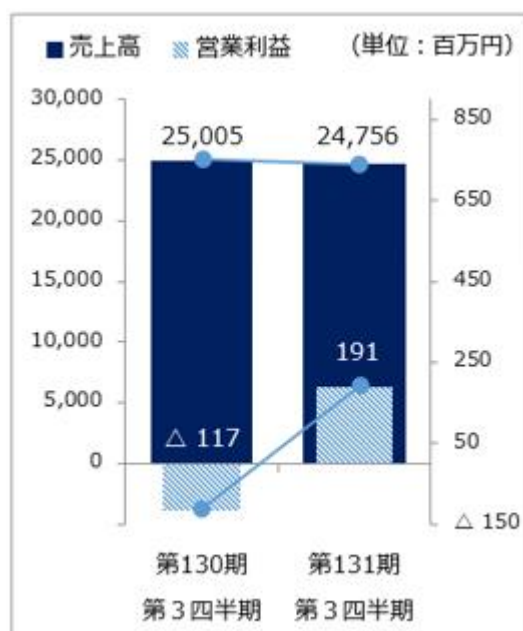
売上高は、インテリア事業、機能資材事業は堅調に推移したものの、世界的な経済鈍化の影響を受け国内外の自動車関連売上が伸び悩んだことにより、前年同期比3.9%減の70億89百万円となりました。

売上が減少したことに加え、基幹システム再構築関連の減価償却費が増加したこと等から営業利益は同38.7%減の12億26百万円、経常利益は同32.3%減の12億22百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同11.0%増の2億68百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

セグメント	売上高		営業利益	
	金額（百万円）	前年同期比（%）	金額（百万円）	前年同期比（%）
インテリア事業	24,756	△1.0	191	—
自動車・車両内装事業	42,596	△5.9	2,136	△27.4
機能資材事業	3,428	1.8	167	△14.5
その他	107	2.4	12	△77.2
小計	70,889	△3.9	2,507	△18.5
調整額	—	—	△1,281	—
合計	70,889	△3.9	1,226	△38.7

(インテリア事業)



売上高は、オフィスビルやホテル物件向け業務用カーペットおよびカーテンの堅調な受注により、前年同期比微減の247億56百万円となりました。商品販売価格改定と利益率の高い商材への注力により、営業利益は1億91百万円（前年同期は営業損失1億17百万円）となりました。

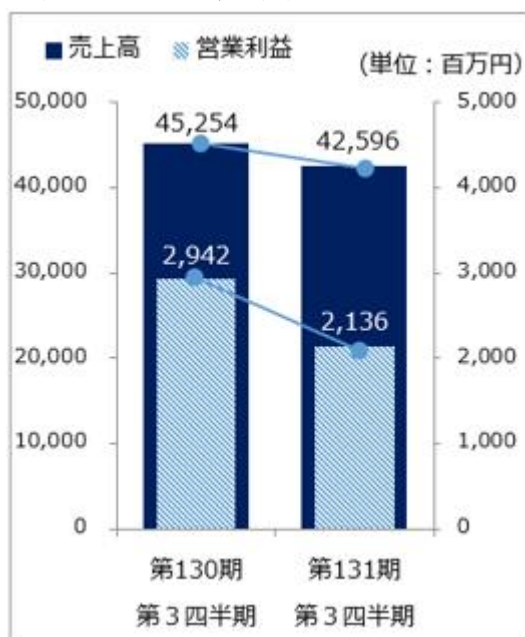
業務用カーペットのうち、タイルカーペットは海外需要が低迷したことで売上が減少しましたが、ロールカーペットは、宿泊施設や商業施設用が堅調に推移した結果、業務用カーペットの売上は前年同期比1%増となりました。

家庭用カーペットの売上は、利益率の高い商材への選択と集中を進めたことに加え、消費税増税以降の消費の冷え込みも影響し、同15%減となりました。

カーテンの売上は、一般家庭向け「mode S® Vol.9」、「U Life® Vol.9」ならびに医療・福祉・教育施設向け「Face」が好調に推移し、同6%増となりました。

壁装関連は、壁紙ならびに襖紙が堅調に推移し、売上は同5%増となりました。

(自動車・車両内装事業)



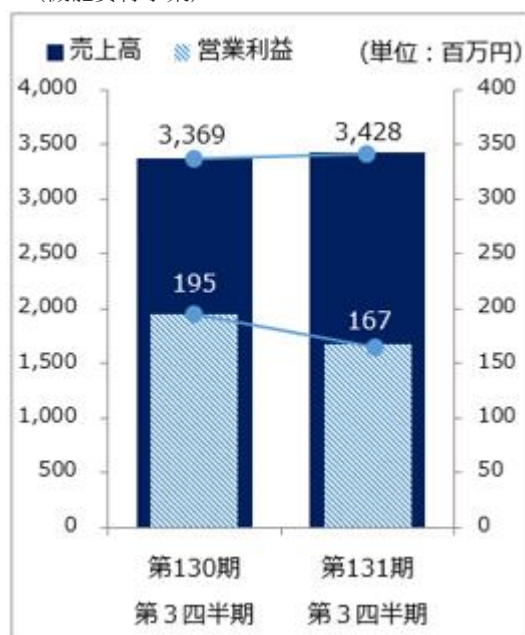
鉄道・バス向けは好調に推移しましたが、日系自動車メーカーのグローバル販売台数が低迷したことで、自動車関連売上は減少しました。その結果、売上高は前年同期比5.9%減の425億96百万円、営業利益は同27.4%減の21億36百万円となりました。

国内の自動車関連売上は、国内生産台数が10月以降に減少傾向となった影響により、前年同期比5%減となりました。

海外の売上は、米中貿易摩擦の長期化による世界的な自動車生産台数の減少の影響を受け、米国、中国、インド、タイと各地で販売が縮小し、同8%減となりました。

車両関連では、鉄道ならびにバスにおいて、新車案件や修繕工事の計画が前年同期比で復調し、堅調に推移しました。また、安全対策商材やシートクッション材「スミキューブ®」等の非繊維商材も売上に貢献しました。

(機能資材事業)



主力製品である季節性商材のホットカーペットは、暖冬の影響もあり売上が微減となりました。その他、土木用資材の採用が増えたこと、浴室床材が堅調に推移したこと等により、売上高は前年同期比1.8%増の34億28百万円となりました。

営業利益は、海外工場の再編費用を計上したことにより、同14.5%減の1億67百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、IFRS第16号「リース」を適用した影響によるリース資産の増加および当第3四半期会計期間の期末日が休日であったことによる電子記録債権の増加等により、前連結会計年度末に比べ23億37百万円増加し、903億12百万円となりました。

負債につきましては、電子記録債務の増加および短期借入金、長期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ41億99百万円増加し、569億3百万円となりました。

純資産につきましては、自己株式の買付による株主資本の減少等により、前連結会計年度末に比べ18億61百万円減少し、334億9百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月期の連結業績予想については、最近の業績動向を踏まえ、2019年7月12日に公表しました通期の業績予想を修正しております。

詳細については、本日(2020年4月14日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,880	9,182
受取手形及び売掛金	18,180	17,064
電子記録債権	5,673	8,089
商品及び製品	9,367	10,047
仕掛品	2,011	1,760
原材料及び貯蔵品	4,287	3,415
未収還付法人税等	166	74
その他	3,100	2,607
貸倒引当金	△29	△36
流動資産合計	50,638	52,206
固定資産		
有形固定資産		
土地	17,611	17,615
その他(純額)	8,749	9,775
有形固定資産合計	26,361	27,390
無形固定資産		
	1,421	1,631
投資その他の資産		
投資有価証券	6,932	6,575
繰延税金資産	1,587	1,404
その他	1,184	1,262
貸倒引当金	△150	△157
投資その他の資産合計	9,554	9,084
固定資産合計	37,336	38,106
資産合計	87,975	90,312

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,193	15,780
電子記録債務	4,425	5,644
短期借入金	9,755	10,955
未払法人税等	458	407
その他	3,946	4,173
流動負債合計	33,779	36,961
固定負債		
社債	1,500	1,500
長期借入金	7,293	8,130
繰延税金負債	554	326
役員退職慰労引当金	95	100
退職給付に係る負債	4,303	4,292
その他	5,178	5,591
固定負債合計	18,924	19,941
負債合計	52,704	56,903
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,651
利益剰余金	10,777	10,577
自己株式	△2,423	△4,016
株主資本合計	20,560	18,767
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,913	1,740
繰延ヘッジ損益	△6	△4
土地再評価差額金	7,797	7,797
為替換算調整勘定	601	494
退職給付に係る調整累計額	△277	△245
その他の包括利益累計額合計	10,028	9,781
非支配株主持分	4,682	4,860
純資産合計	35,271	33,409
負債純資産合計	87,975	90,312

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2020年2月29日)
売上高	73,734	70,889
売上原価	58,696	56,422
売上総利益	15,038	14,466
販売費及び一般管理費	13,036	13,240
営業利益	2,001	1,226
営業外収益		
受取利息	9	13
受取配当金	125	120
不動産賃貸料	185	201
その他	121	191
営業外収益合計	441	527
営業外費用		
支払利息	242	209
持分法による投資損失	44	75
為替差損	54	134
不動産賃貸費用	23	24
その他	271	87
営業外費用合計	638	531
経常利益	1,804	1,222
特別利益		
固定資産売却益	13	2
投資有価証券売却益	7	143
特別利益合計	21	145
特別損失		
固定資産除売却損	17	62
投資有価証券評価損	79	—
投資有価証券売却損	120	—
特別損失合計	217	62
税金等調整前四半期純利益	1,608	1,305
法人税、住民税及び事業税	649	646
法人税等調整額	148	12
法人税等合計	797	658
四半期純利益	810	646
非支配株主に帰属する四半期純利益	568	378
親会社株主に帰属する四半期純利益	241	268

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益	810	646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△745	△173
繰延ヘッジ損益	3	8
為替換算調整勘定	△91	△110
退職給付に係る調整額	24	32
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	△6
その他の包括利益合計	△821	△250
四半期包括利益	△11	396
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△545	21
非支配株主に係る四半期包括利益	534	374

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年1月11日開催の取締役会決議に基づき、第2四半期連結会計期間末までに自己株式を557,500株を取得し、2020年1月10日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結会計期間末までに自己株式を224,000株を取得した一方、2019年8月29日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式を2,750株処分いたしました。この結果、単元未満株式の買取りによる増加を含め、当第3四半期連結累計期間において自己株式が、1,592百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が4,016百万円となっております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

米国を除く在外連結子会社では、第1四半期連結会計期間の期首からIFRS第16号「リース」を適用しております。IFRS第16号「リース」の適用にあたっては、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において有形固定資産のその他が1,077百万円、流動負債のその他が252百万円、固定負債のその他が782百万円それぞれ増加しております。なお、当第3四半期連結損益計算書への影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)
報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	25,005	45,254	3,369	73,629	104	73,734	—	73,734
セグメント間の内部 売上高又は振替高	548	6	1	556	130	687	△687	—
計	25,553	45,260	3,371	74,186	235	74,421	△687	73,734
セグメント利益 又は損失(△)	△117	2,942	195	3,020	56	3,077	△1,075	2,001

- (注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,075百万円には、セグメント間取引消去22百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,098百万円が含まれております。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	24,756	42,596	3,428	70,782	107	70,889	—	70,889
セグメント間の内部 売上高又は振替高	535	4	0	541	124	665	△665	—
計	25,292	42,600	3,429	71,323	232	71,555	△665	70,889
セグメント利益	191	2,136	167	2,495	12	2,507	△1,281	1,226

- (注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。
- 2 セグメント利益の調整額△1,281百万円には、セグメント間取引消去22百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,303百万円が含まれております。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。